

機械修理業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	9~10	工事中エレベータ（以下EV）試運転のため、EVポストを昇り、天井ハッチを閉めたところEVが動き出し、外側からEV天井手摺に安全帯のフックを掛けていた被災者が上昇するEVに引っ張られた。安全帯が破損し、約4~5mの高さから墜落した。	47	30~49
2	5~6	手摺り用階段から手足を滑らせて落下した。	68	—
2	11~12	構内駐機ヤード内にてSK1000DセパレートATT油圧ホースへ飛散防止ガード装着作業2名にて実施中、機械本体から下りる際にクローラーフレームのステップを利用して降りたが、足を踏み外してそのまま落下し腰を強打し救急車にて搬送された。	32	10~29
4	11~12	工場内に於いて、場内の整理作業中、資機材を置いてある棚の上部（高さ4m、広さ4m×1.5m）に梯子を上ってワイヤーを取りに行った際、棚の上に置いてあった工具（電動ホイスト）に左足がつかずいて落下し、棚の下に置いてあったドラム缶に右足が当たり、ロールベンダー（鉄板加工機械）に顔面を打ち付け負傷した。	49	1~9
4	9~10	倉庫内で荷物の整理中、吊荷の鉄板から滑り落ち、右足甲を負傷した。	69	1~9
6	16~17	当社工場内において、ラックをよじ登り、2段目に置いてある出庫品の防災シートを取り終え、ラックを下りようとした際に誤って転落し打ち負傷した。	55	10~29
6	16~17	ダンプの荷台上で機械の積下ろし作業をしている時、暑さで頭がボーッとした状態があつて、意識がなくなり、地面に転倒した。	61	1~9
		機械置場にて建設機械の修理中に、トラックの荷台の上の工具箱を取ろうと荷台の		10

6	14~ 15	上に登り、工具箱を持ったまま降りる際にバランスを崩し、後ろへ転倒し、腰を強く打った。左腰と左脚に痛みと痺れを感じた。	25 ~ 29
7	10~11	造船所内に上架中の船エンジン修理中、船内のはしご階段（3~4段）を物品を持って降りる際、階段を1段、踏みはずし、尻餅をついて背中を強く打った。	72 ~ 29
7	14~ 15	整備センター工場内にて、4tダンプより荷物（リース品）を荷降ろし作業中、4tダンプ荷台（高さ約1.5m）から滑り落ち、体勢が悪いまま落下したため、着地の際に左膝に負荷がかかり、左側に倒れる様に転げ落ちた。	36 ~ 9
7	9~ 10	材料送り台（高さ1.4m、長さ2.3m、幅2.1m）の上部に、木材板（幅0.4m、厚み5cm）が両側に設置してあり、この足場を利用して溶接作業を行っていた。その際、足場板に火災予防のための水を散布していたため、滑って転落し、頭部と肩を強く打った。	65 ~ 49
9	9~ 10	ユニック車からの荷下ろし作業中、荷物の確認作業を行っているとき、トラック荷台でバランスを崩し、地面に転落した。	42 ~ 9
9	18~ 19	客先と打ち合わせ終了後、旅館へ移動、旅館に到着して、駐車場に業務用車を駐車後、車後部よりカバンを取り出す為、後部ハッチを開きながら後ずさりした時、後方の溝に転落して受傷。（溝幅約3,000mm、溝深さ約2,000mm）	61 ~ 999
11	14~ 15	コンバインの洗車作業時、泥処理のため、沈殿槽の幅を広く開けていたので開口部となってしまう、誤って右足を落としてしまったため右足の脛を負傷してしまった。	35 ~ 9
12	10~11	工場空調機跡のステージ上にて、新規に設置した放送設備のスピーカーの写真を撮ろうとして、スピーカーの方を向きながら斜め右方向へ移動をされていて、ステージから足を踏み外し、ステージの骨組みであるH鋼に左側第10肋骨を当て骨折した。その骨折により腎臓を圧迫損した。	46 ~ 300 ~ 499

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)